

バロックの鬼才エンリコ・オノフリ指揮

# ハイドン

## フィルハーモニー

HAYDN PHILHARMONIE 2023

Enrico Onofri, conductor

Ludwig van Beethoven Johann Michael and, Franz Joseph Haydn

# 『奇蹟』と『運命』

ハイドンフィル・ミュージックパートナー

エンリコ・オノフリ [指揮]

ミヒャエル・ハイドン	交響曲第39番	ハ長調 P. 31 (MH 478)
ヨーゼフ・ハイドン	交響曲第96番	ニ長調 Hob.I-96 「奇蹟」
ベートーヴェン	交響曲第5番	ハ短調 Op. 67 「運命」

©Niklas Schnaubelt

2023 6.27 火 19時開演  
18時15分開場

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 ☎03(5541)8710

チケット 一般: S席 9000円 A席 6000円  
(全席指定/税込)

〈販売・お問合せ〉 プロアルテムジケ PRO ARTE MUSICA E 03(3943)6677 [www.proarte.jp](http://www.proarte.jp)  
朝日ホール・チケットセンター 03(3267)9990 (日・祝除く10:00-18:00)  
チケットぴあ [Pコード 240-361] [t.pia.jp](http://t.pia.jp) イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)

後援  
オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京 tyo okf  
日壇文化協会

主催  
朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/プロアルテムジケ

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になった場合でも、公演中止を除きチケットの払い戻しは致しかねます。  
※就学前のお子様のご入場はお断りしております。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約)0120-788-222

交響曲の父・ハイドンが生涯楽長をつとめ、ハプスブルク帝国、オーストリア=ハンガリー帝国激動の時を超えて保存されつづけるヨーロッパの至宝エスターハーギー城を本拠地とする〈ハイドン・フィルハーモニー〉。巨匠アダム・フィッシャーが東西の平和を願って復活させた響きは2009年に初来日。2018年にはフィッシャーの後継でチェリストのニコラ・アルトシュテットが率い、クラシック音楽の未来を予感させる衝撃的なモーツァルト、ハイドンのパフォーマンスで話題になりました。2023年は世界最高のバロック・ヴァイオリニストと称されるイタリアの鬼才エンリコ・オノフリのもと、三度目のインパクトをもたらすことでしょう!

# ハイドン フィルハーモニー HAYDN PHILHARMONIE 2023



## エンリコ・オノフリ [指揮]

14歳にして初めてヴァイオリンを手にし、すぐにアーノンクールよりコンツェントゥス・ムジクスに招聘される。その後22歳でJ・サヴァールの楽団のコンサートマスターに抜擢。20歳よりイル・ジャルディーノ・アルモニコのソリストを務めているが、同楽団の有名な録音〈ヴィヴァルディの四季〉のソロは、彼が若干26歳の時のものである。

その後イタリアバロックを中心に、ソリストとしてのオノフリの名声はヨーロッパ中に知れわたり、近年はベルリン古楽アカデミー等欧州各国の古楽演奏団体や、リヨン国立歌劇場等モダン・オーケストラにも頻繁にソリスト、指揮者として客演している。

自身のソロ活動としては「アンサンブル・イマジナリウム」を立ち上げ、2010年にロンドンで行った演奏会は英テレグラフ紙の「2010年クラシック公演」で第1位を獲得、19年にリリースされた録音〈17世紀イタリアの技巧的ヴァイオリン〉も強烈な演奏が高く評価された。ハイドン・フィルハーモニー首席客演指揮者。

## ハイドン・フィルハーモニー管弦楽団

1987年、鉄のカーテンが崩壊する前の当時「オーストリア、ハンガリー両国の選りすぐりの音楽家を集め、ハイドンの作品をともに演奏することで音楽的に国境を克服しよう」という指揮者アダム・フィッシャーの考えのもと、ウィーン・フィルやハンガリーの主要オーケストラなど一流の演奏家たちが集まった。

本拠地はアイゼンシュタット。ハイドンが多くの作品を生み出したエスターハージー城内のハイドン・ザールに置かれている。

2017年から21年まではチェリストのニコラ・アルトシュテットが芸術監督を務め、現在は多国籍、よりすぐりの音楽家で構成される。2019年からは初の客演指揮者としてエンリコ・オノフリとの緊密なコラボレーションをスタート。2023年以降はアルトシュテットとオノフリをアーティストック・パートナーとして活動を強化している。

欧米、アジアなどでも数多くのツアーを成功させ国際的な地位を確立し、その名声はウィーンのコンツェルトハウス、楽友協会、チューリッヒ・トーンハレ、ベルリンフィルハー

モニー、ニューヨーク「モストリーモーツァルト」フェスティバル、東京サントリーホール、北京国立演芸センター、上海交響ホール、ブエノスアイレスの名門コロン劇場など世界中の主要ホールで証明されている。

日本では、ハイドン・イヤーであった2009年、エスターハージー城にてフィッシャーが指揮するハイドン没後200年記念「天地創造」演奏会が開かれ、世界各国へ中継放送が行われた（日本ではNHKが放映）。同年11、12月に行った初日本ツアーとあわせて絶賛を浴び、2018年には、アルトシュテットが率いるクラシック音楽の未来を予感させる衝撃的なモーツァルト、ハイドンのパフォーマンスで話題になった。

1987年から2001年にかけてフィッシャーとハイドン交響曲全集を録音し、2006年と2008年にドイツの有名な音楽賞「エコー・クラシック」に輝き、シャロン・カムとのモーツァルトのクラリネット協奏曲の録音は、2011年にフランスのディアパソンドール賞を受賞した。アルトシュテットと共演したハイドンのオラトリオ「天地創造」と「四季」は、オーストリアのテレビ放送ORF 3とクラシック音楽のストリーミングサービスmyfidelio.atに映像で収録されている。



## 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 ☎03 (5541) 8710

### 地図・交通のご案内

朝日新聞東京本社・新館2階 都営大江戸線・築地市場駅下車A2出口すぐ

### その他の交通

- 築地駅 東京メトロ日比谷線(1、2番出口)より徒歩約8分
- 東銀座駅 東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 汐留駅 都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 新橋駅 JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1、2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分